



▲県農業コンクール各部門と農山漁村いきいきシニア活動表彰農業部門の受賞者の皆さん

受賞おめでとうございます

～県農業コンクール・農山漁村いきいきシニア活動表彰～

2月8日、県農業コンクール大会表彰式が行われ、組織農業部門でJA本渡五和果樹部会柑橘部施設デコポン会が、環境部門でJAあまくさ花き部会トルコギキョウ専門部会が最高賞の秀賞と合わせて農林水産大臣賞を受賞しました。2月1日には農山漁村いきいきシニア活動表彰式が行われ、農業部門で吉永三代子さん(本渡町)が県賞を受賞しました。

【県農業コンクール大会のその他の結果】
個別経営部門優良賞…福永修一さん・千津子さん(有明町)、新人王部門優良賞…田中誠さん(栖本町)、地域貢献賞…野中育代さん(久玉町)



▲県代表として都道府県対抗男子駅伝競走大会で活躍した根岸成光くん

牛深中の根岸成光くんが県代表として力走！

～全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で熊本県が4位入賞～

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が1月20日、広島市で開かれ、牛深中学校3年の根岸成光くんが県代表として出場し、熊本県チームの4位入賞に貢献しました。

根岸くんは、中学生区間の2区・3kmを力走。「全国のレベルは高く、まだまだ練習不足を感じました。応援してくれた人々への感謝の気持ちを忘れず、高校へ進学しても陸上を続け、またこの大会に出たいです」と今後の抱負を語っていました。



▲パネルディスカッションでは安田市長らがパネリストとして参加

田舎暮らしの魅力を都市住民にPR

～天草で暮らそう！シンポジウム in 福岡～

田舎暮らしの魅力を都市部の人たちにPRしようと2月17日、「天草で暮らそう！シンポジウム in 福岡」をアクロス福岡（福岡市）で開催しました。当日は、玉田樹・ふるさと回帰総合政策研究所長による基調講演や天草へUターンした市民の実践報告のほか、『天草を“ふるさと回帰”の宝島にするため』をテーマにパネルディスカッションを実施。参加者は「温暖な気候と景勝地が魅力的。移住または二地域居住も考えてみたい」などと話していました。



▲『地域に根ざした生涯学習』をテーマにしたパネルディスカッション

いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習！

～どこでも生涯学習フォーラム～

2月16日、これからの生涯学習のあり方について考える『どこでも生涯学習フォーラム』を五和町コミュニティセンターで開催しました。岩永雅也・放送大学教授による記念講演のほか、元テレビ局アナウンサーの小出史さんをコーディネーターに迎えてパネルディスカッションを実施。岩永教授が「生涯学習は、いつでも、どこでも、だれでもできる。ぜひ、何かをはじめてみてください」などと語られ、約150人の参加者は熱心に聞き入っていました。



▲花苗をていねいに植えていく 栖本地区振興会環境部会員の皆さん

花に囲まれた心とまをまをみざして

～栖本地区振興会環境部会が花苗を植栽～

2月3日、国道266号沿いにある植樹帯約75㎡に300本の色鮮やかなクリサンセマム（別名：ノースポール）が植えられました。これは、県管理の植樹帯を有効活用しようと、栖本地区振興会の環境部会員が昨夏のひまわりを引き続き植栽。部会員からは、「ここは栖本町の玄関口となる場所。訪れる人たちが、この花を見て少しでも和んでもらえたら」と白い息を吐きながら、笑顔で作業に打ち込んでいました。



▲東京都で行われた贈呈式で、児童を代表して6年生の鳥羽瀬萌恵さんが活動事例を発表

城河原小学校のホタル便に荣誉

～SYDボランティア奨励賞特別賞受賞～

城河原小学校が2月10日、(財)修養団主催の「第2回SYDボランティア奨励賞特別賞」を受賞しました。この賞は、次世代を担う青少年がボランティア活動を実践し、優れた業績をあげたグループや個人に贈られるもの。同校が城河原地域づくり振興会などと平成15年から行っている、福岡の病院や隣接する特別支援学校の子どもたちへ、ダッシュ8を利用してホタルを送る取り組みや、全校児童の手紙を通じた交流活動が評価され、今回の受賞となりました。



▲3km出場の皆さんが元気よくスタート！

潮風を受けながら楽しく健康づくり

～しおさいマラソン大会・よかところ祭～

第17回しおさいマラソン大会が2月11日、御所浦小学校グラウンドをスタート・ゴールに行われ、マラソンと歩こう大会に約540人が出場しました。“健康マラソンの原点に帰り、楽しく、ゆっくり走ろう”と今回は記録を計らずに実施。親子連れは手をつなぎ仲よく走っていました。参加賞にはタオルのほか、町外からの参加者にはタイも贈呈。午後にはよかところ祭も開かれ、訪れた人たちは演芸を見たり、もち投げに参加したり、楽しく過ごしていました。



▲自己記録を目ざし、白熱したレースを展開！

寒風のもと、413人が健脚を競う

～天草ロードレース～

2月17日、浦田春生バルセロナオリンピック出場記念『第13回天草ロードレース大会』が新和町民センター周辺をスタート・フィニッシュするコースで開催され、413人が参加しました。レースは、県内外の有力高校の選手が白熱したレースを展開したほか、今回から、家族で参加できるミニハーフマラソンやミニマラソンコースが新設され、手をつないで走る親子の姿もあり、従来の選手育成に加え、幅広い年齢層の人が参加できる大会となりました。